

こんにちは！研究部です。全事研福井大会がいよいよ迫ってきました。

年度末・年度はじめの慌ただしい中ですが、今年度の研究部の活動を皆さんと振り返り、新しい年度への目標と決意を新たにしていきたいと思います。今年度は、2つの大きな活動がありました。

## 福井大会研究部 令和4年度の振り返り

4月

### 学校事務グランドデザイン「つぐみ」改訂

「つぐみ」2022にリニューアルしました。



今後事務職員に更に求められる役割や「つかさどる事務職員」としてのめざす姿等について見直しを図り、主体的・積極的に学校運営に参画できる事務職員になるための行動の指針として改訂しました。

10月

### 福井大会プレ大会開催

秋季学校事務研究会「全体会」でプレ発表を行いました。

助言者

加藤崇英教授

(茨城大学大学院)

「つぐみ」2022と改正された標準的職務表の視点から、業務改善や新しい職務へのかかわりなどについて考え、ご助言をいただきました。

今一度、振り返ってみましょう。

#### 話題 I 業務改善を推進しよう —実践より—

校内行事の準備の円滑化・省力化のため、購入物品の経費や購入先等の情報をファイルにまとめ、業務改善につなげる取組について、その後の経過と共同実施で取り組む上での課題の投げかけをしました。取組や職員へ提案する上で課題となったのが、「実務的な負担」と「心理的な負担」です。入力を行うという作業のわずらわしさ、業務が増えたことや慣れない作業をすることへのネガティブな感覚、この両者をどう解消していくかが課題です。

会員への事前アンケートでも、「職員に頼みにくい」「現在のやり方を変えることへの抵抗感がある」といった悩みがありましたが、実情を検証し、改善に向けて主体的に働きかけていくことがリーダーシップにもつながっていくものと考えます。目先の負担感にとらわれず、子どもたちの確かな学びや幸せにつながるかなどの幅広い視点で考えることが重要です。一步を踏み出しましょう！

#### 話題 II 情報を共有し、意識を広げよう —危機管理意識を高める—

実際に起こった事案を基に、標準的職務表の「学校運営 危機管理」にどうかかわっていくかを考えま



した。学校で何かが起こったときにどう対処するかを日頃から管理職等と話題にすることなどが危機管理につながることを再確認しました。また、学校に救急車を呼んだときの対応についても考え、時系列での記録（情報管理）や連絡調整など、事務職員だからこそできることや、日頃から危機管理意識をもつことなどを提案しました。ぜひ、事務研や共同実施で「危機管理」を話題にしてみましょう。取組の共有、危機管理マニュアルの読み合わせなど、できることがたくさんあります。

#### 助言者より

子どもの命にかかわることはすべて「危機管理」であり、「リスク・マネジメント」（事前の管理）と「クライシス・マネジメント」（発生時、発生後の管理）の両面から、学校の危機管理として「事務職員ができることはこういうことだ」と言えるようにしておくことが大切である。

「つぐみ」は、実際に行動するための行動指針であり、業務経験を積み重ね「できる」ための力量形成イメージ、こうなりたいというキャリア形成イメージである。まさに事務職員のために作られたものであり、「標準的職務表」は学校事務職員の全体像を記したものの、まさしく事務職員の成長した完成形とも言え、この2つは相互に関係しあっている。標準的職務表に照らし合わせ、今の自分はどうか、共同実施の取組はどうかということや、「つぐみ」から見てどのステップまでできているかなどを確認する相互の視点が大切である。経験を積み一人前になった（＝学校における協働性の実感を得る）とき、事務職員としてのやりがいを感じ仕事への充実感も得られるのではないか。

#### 県事研がめざす事務職員像とは？

事前アンケートから、会員の半数以上が事務職員経験年数10年未満になっている中で、「事務をつかさどる」を意識している会員が半数以上いることがわかりました。学校事務が時代の変化に対応できるよう、組織開発と人材育成を同時に進めていくことが重要であると考えます。

学校組織が円滑に機能するよう、地域や関係機関も含めた学校内外での目標、課題の共有や、協働体制の構築、経営資源の有効活用等に事務職員が主体的にかかわり、働きかけていくことがますます重要となってきています。（「つぐみ」2022 5ページより抜粋）

#### 会員のワークシートより

##### 自分がやろうと思うこと

- ・コミュニケーションをとる ・情報共有
- ・一人で抱えこまない（人を頼る）
- ・職務表を見る ・つぐみを参考に取組む
- ・会計のやり方を周知する ・環境整備 ・「行事経費の見える化ファイル」を实践

##### 感想

- ・危機管理を意識していきたい
- ・将来の目標（5年後、10年後・・・）を定める
- ・職務表、つぐみを再確認できた

プレ大会全体会内容の詳細については、後日県事研から発行される「飛躍」をぜひご覧ください。会員の皆さんの意欲向上につながるよう、これからも研究を進めていきたいと思えます。

年度末・年度はじめにあたり、皆さん自身の仕事について、「つぐみ」2022の「実行策シート」を活用して振り返りと次年度の計画を行い、継続的改善につなげましょう。

